

みなとみらいで「SDGs文化祭」

30以上の企業・団体が参加、高校生グループも

SDGs（持続可能な開発目標）に取り組む県内企業や団体のことを広く知ってもらおうと、横浜高速鉄道みなとみらい線（MM線）・みなとみらい駅構内のサブウェイギャラリー Mで「ヨコハマSDGs文化祭2024」が開催された。

実行委員会の主催。今年で3回目。

企業などのSDGsへの取り組みを紹介することで、さまざまな人たちが「自分ごと」として捉え、行動変容につなげてもらうことが狙い。開催中は7日間で延べ約1000人が来場した。

30以上の企業、団体が参加。製品や活動紹介のブース展示をしたほか、

障がい者施設で加工した革の廃材を使ったフォトフレームづくりのワークショップなども行われた。また、初の試みとして、トークセッション「SDGs文化サロン」もライブ配信した。

一方、高校の授業でフェアトレードについて学んだことがきっかけで今年1月に設立された学生団体「こりっぷる」も参加。フェアトレード商品の販売や活動内容を紹介していた。

渡邊桃伯子委員長は、「幅広い世代



が集まりました。今後はもっと仲間増やしていきたいです」と語っていた。